

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	マシン	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.524	△RG	0.052	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール

フレアーの幅 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

PAPからピンとの距離

4 3/4 インチ

番

研磨剤

比較対照ボール：ロボルール

フレアーの幅 インチ

表面加工

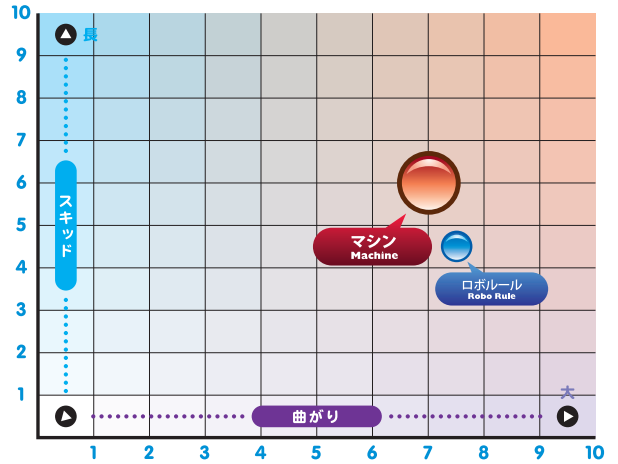
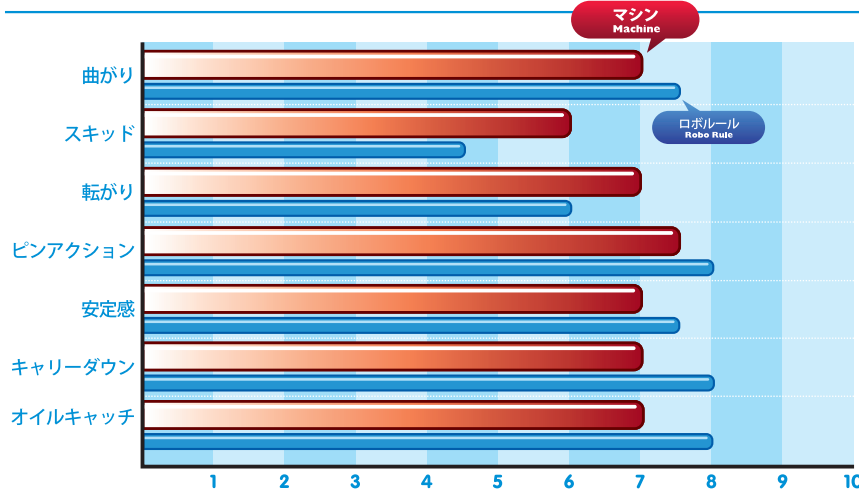
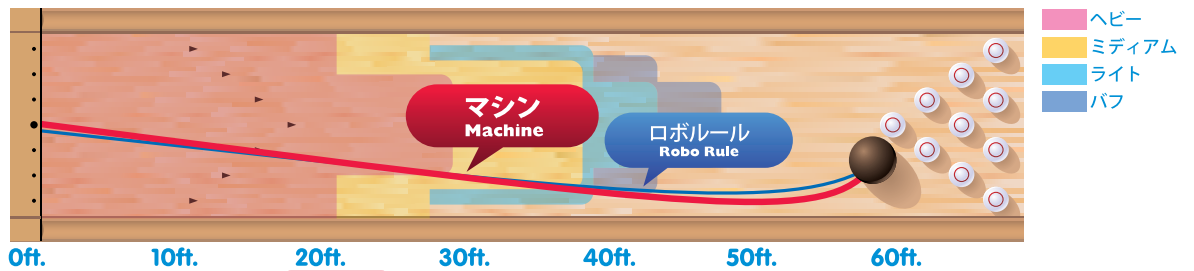
- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

PAPからピンとの距離

4 3/4 インチ

番

研磨剤



ボールの評価

この MACHINE はカバーストックにパーティクルとリアクティブの良いところを兼ね備えた FANG LS Particle を使用し、5.45 のスピントイムを叩き出す非常にモーションポテンシャルが大きい Robo Core を搭載いたしました。FANG LS Particle は前作の ROBO RULE で使用されていた GP2 Particle より手前のスキッド感が良く、キャッチの噛み過ぎを抑え、バックエンドまでエネルギーを蓄えることが可能なためリアクティブを思わせるバックエンドリアクションを実現させてくれます。その中でも注目すべき点は MACHINE はミッドエリアからの曲がり始めからピンヒットまでのリアクションが読みやすく、オイルを長く使用しタイトに攻めたり、ドライゾーンからの出し戻す双方のライン取りでコントロール性能に優れているということでしょう。この MACHINE はキャリーダウンしたコンディションではマイルドな運動特性をみせ、ドライゾーンではシャープなリアクションをします。投球したイメージでも外に大きく向けて投球もできるし、オイルの中を泳がしても安定したトラクションを得ることができるため対応幅の広さを感じるボールに感じました。Robo Core の強いモーションポテンシャルを受け止める FANG LS Particle カバーストックとの組み合わせはベストマッチで私自身待ち焦がれていたボールです。間違いなくプロトーナメントでも活躍してくれるボールであり、多くの方にこの良さを感じていただきたいそんな仕上がりです。

特記事項

Robo Core と FANG LS Particle カバーストックの組み合わせはベストマッチでラインの対応幅を感じさせてくれる今一番のオススメのボールと言えます。